

312号

2021年
9月

日赤みやぎ



▲台風による災害に備え、援助物資を積み込む職員。常に災害への備えを心がけています。

大雨や台風が多い季節です 万が一に備えましょう！



いつもの避難グッズに
「感染予防」をプラス

- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ
- ・マスクの予備
- ・除菌ウエットシート





災害時に大活躍！赤十字防災ボランティア

赤十字防災ボランティアとは

地震、台風、大雨による大規模災害が起こったときに日本赤十字社の災害救護活動を支援するのが赤十字防災ボランティアです。

一般の災害ボランティアは、災害時に被災地に設置されるボランティアセンターに登録して活動しますが、赤十字防災ボランティアは、**平時から訓練や研修に参加して**災害救護活動に必要なノウハウを習得し、災害発生時には、**赤十字の活動（情報収集、救援物資の搬送、応急手当、炊き出し、安否調査、避難所でのケアなど）に参加する**のが大きな特徴です。

宮城県には現在**96名**が登録しています。

研修・活動の4ステップ

1 登録研修・
スキルアップ研修Ⅰ

登録研修…赤十字ボランティアの基礎的な知識を習得します。

スキルアップ研修Ⅰ…三角巾を使ったケガの手当を全員で実践したり、被災者に接する際のこころのケアを学びます。

2 スキルアップ研修Ⅱ

随時登録希望者を募集します。登録研修及びスキルアップ研修Ⅰを受講いただいた方々には災害時に防災ボランティアリーダーの指示のもと、被災地で活動していただきます！

スキルアップ研修Ⅱ…実技を通して、救護装備資材の取り扱いに関する知識と技術を身につけます。

3 災害発生
ボランティア活動実施



4 各種レベルアップ研修

赤十字防災ボランティアリーダー、地域の防災セミナースタッフ、防災訓練のスタッフなどを養成するため各種レベルアップ研修があります。

令和元年台風第19号災害時の活動紹介



宮城県では6名のリーダーが活動中です



ハートラちゃん情報：赤十字防災ボランティアリーダーとは？

防災ボランティアリーダーは、支部内で実施される様々な防災ボランティア活動をコーディネートする役割を担っています。活動ニーズや活動状況を把握し、活動の企画、ボランティアの派遣、調整など活動の推進を図ります。

メンバーの声

「地域と防災のためにできることを」

佐藤亜矢子さん

子育てのタイミングで、大阪では阪神・淡路大震災、宮城では東日本大震災を経験し、地域やボランティアへの恩をいつか返したいと思ってきました。PTAや婦人防火クラブを通して、積極的に地域防災に携わるようになり、赤十字防災ボランティアもそのひとつとして始めました。令和元年台風第19号災害では、救援物資の搬送に人手が足りないと知り、「自分が行かなくちゃ」と倉庫に駆け付け、トラックに物資を積み込みました。土砂降りのために駐車場で身動きがとれない人を自分の車に乗せて、その人の車まで送ることもしました。現場で役に立てた実感がありました。助けを求める人のためにできることをという気持ちが私の原動力になっています。



「日頃から災害に備える大切さ」

リーダー 大友 明夫さん

東日本大震災当時、発災から3か月間、全国から集まった赤十字ボランティアの受け入れや調整を支部のボランティアセンターでしました。現地では、泥かきやがれき撤去で負傷した一般ボランティアの手当をしたり、夏にかけては熱中症対策の注意喚起に注力したりと赤十字らしい活動をメンバーと共に進めました。何もかもが手探りでした。その経験と「災害が起きてからではなく、日頃からしっかりした備えが大切」という気づきから、定期的に防災ボランティアの研修や活動のあり方を話し合って次の災害に備えることと、救急法などを通じて命を救える人を育てることを続けていきたいと思っています。



赤十字ボランティアについて詳しくはこちらをご覧ください





宮城県支部のトピックス

【赤十字防災ボランティアリーダー会議を開催！】

当支部では、災害時に赤十字の救護班や地域奉仕団と協働して被災地を支援し、日頃から地域防災に積極的に取り組む「赤十字防災ボランティア」の養成に力を入れています。8月9日(月)にはリーダー会議を開催し、リーダーが今後の研修体系などについて活発な議論を展開しました。

日頃から連携を強化することで、災害が発生した際、自律した活動意識を持ったボランティアの育成を目指しています。



【世界初のリハビリ用「足こぎ車いすCOGY」を仙台89ERSが日赤に寄贈！】

8月4日(水)、宮城県支部とパートナーシップ協定を結んでいるプロバスケットボールチーム仙台89ERSから仙台赤十字病院へ「足こぎ車いすCOGY」が3台寄贈されました。

「足こぎ車いすCOGY」は、歩行が困難な方が片足の力でペダルを漕ぐことで原始的歩行中枢が刺激され、もう片方の動かすのが難しい足の機能改善が図れる世界初の特別な車いすです。開発・販売元の株式会社TESS様ご協力のもと、寄贈が実現しました。

当日は、渡辺翔太選手が小児科に入院している子どもたちに同車とサイン入りユニホームとクリアファイルをプレゼント。子どもたちも大喜びで、交流を楽しみました。



渡辺選手からのプレゼントに笑顔があふれる子どもたち

市区町村の赤十字事務担当者会議を初めてWEBで開催！

6月9日(水)、地区・分区担当者会議をWEB開催しました。地区・分区とは、市区町村単位の日赤事務局で、県内市区町村の福祉関係課や社会福祉協議会などに現在70か所あります。この会議は、地区・分区の担当職員が、赤十字運動を展開するための知識や情報を得る機会であり、例年5月の赤十字運動月間前に開催しています。コロナ禍のため昨年中止した本会議を初の試みとしてWEBで開催したところ多くの方の出席があり、短時間ではありましたが、お互いに顔の見える関係づくりができ、とても有意義でした。今後もオンラインを有効に活用し、さらなる地区・分区との連携の促進を図ってまいります。



顔の見える関係づくりとして、各課の職員を紹介しました



宮城県内施設のトピックス

QC活動が本格的に始まりました！

【QC：Quality Control】活動という言葉をご存じでしょうか？これは、医療の質改善を行うべく、1年の中で話し合いを重ね試行錯誤し、改善できた点をその場限りでなく来年以降も定着させていく活動です。その中で「もっとこうした方がいいのでは」「ここを変えたら、さらに患者さんに寄り添ったケアができるようになるのでは」という意見を出し合い、医療の質を一人一人が考え見つけなおす機会を設け、現状に満足せずよりよい医療の提供を目指していきます。

当院では昨年よりQC活動を開始しましたが、認知度がまだ低く昨年の参加チームは3組でした。しかし、なんと今年は倍以上の8組ものエントリーがあり、段々活動の幅を広げ、各チーム一丸となって医療の質改善に邁進しております！



▲QC活動を行う各チームが集まって意見交換・発表をする様子

石巻赤十字病院

【新型コロナウイルス診療応援へ看護師派遣】



▲関西医科大学総合医療センター派遣へのお出立

この度、新型コロナウイルス感染症が流行している地域の医療体制を確保するための要請に応え、石巻赤十字病院では6月に関西医科大学総合医療センターへ2名、沖縄県立八重山病院へ1名の看護師を派遣しました。派遣された3名の看護師は、ひっ迫している現場の一助となればとの思いから志願し、約2週間に渡り重症・中等症のコロナウイルス感染者の診療にあたりました。

当院では感染流行地域の医療体制を確保するため、今後も看護師派遣への要請に応じてまいります。

宮城県赤十字血液センター

『献血セミナー』を開催してみませんか

宮城県赤十字血液センターでは、輸血や献血の必要性や重要性を学んでいただける「献血セミナー」を開催しています。

7月6日に開催された宮城県献血担当者研修会では、骨髄移植を経験した、一般社団法人SNOWBANK代表理事、荒井DAZE善正氏を講師に招いて「献血セミナー」を実施し闘病中の実体験を交えながら、献血の重要性や命の大切さを訴えました。

現在「献血セミナー」の開催について積極的に取り組んでいます。詳しくは献血推進課までお問合せください。(022-290-2515)





【ACTION!防災・減災】



9月1日「防災の日」から、右記本社特設ページで「発災時の適切な避難行動」に役立つ情報をお伝えします。
当サイトでは、災害時に働く2つの心理である正常性バイアスと同調性バイアスの理解促進を目的としたコンテンツをご紹介しますので、ぜひご覧ください。



お役立ち情報 非常食かんたんレシピ



* アネちゃんの * かんたんごはん帳 Vol.22 ホイル焼き2種

鯖味噌缶やランチョンミートの缶詰を非常食として備蓄している方も多いのでは……。缶詰は賞味期限が設けてはありますが、缶に傷がついているなどなければ期限が切れても問題なく食べられます。とはいえチェックを兼ねて、非常時にも簡単に、調理器具を汚さず作れる缶詰を使ったホイル焼きを試してみませんか？ランチョンミートはコンビーフに代えてもOK。鯖の味噌煮は、ちゃんちゃん焼き風に仕上がります。どちらも味が濃い缶詰なので、他に味付け不要というのがよい点です。また密封して加熱し、開封せずに個々に配れるので衛生的なのもメリットです。アルミホイルはくっつかないタイプがオススメ。普通のアルミホイルを使用する場合はペーパーなどでサラダ油を塗ってください。

アネ（牧野純子）
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター
仙台市在住
赤十字救急法救急員 赤十字防災ボランティアリーダー
出版社、CM制作会社を経てフリーランスに。著書に「アネちゃんのごはんいっぱい幸せ」（主婦と生活社）、「夜にちよこっとココットごはん」（朝日新聞出版）がある。

- * 材料（4人分 2種類×2）**
A（下記にこだわらず好みの野菜でOK）
 キャベツ（一口大に切る）…1/4玉
 玉ねぎ（薄切り）or長ネギ（斜め切り）…適量
 にんじん（千切り）…1/2本
 きのこ（しめじ・舞茸など）…1房程度 など
B ランチョンミート（スライスする）…1/2缶
C 鯖味噌煮缶詰…1缶

- * 作り方**
 1. アルミホイル（30×40cm程度）を4枚並べ、それぞれの中央にAを盛り付ける。
 2. 1の2つにランチョンミートを乗せる。
 3. 残りの2つに鯖味噌煮缶詰を乗せ、あればバター（分量外・小さじ1・好みで）を乗せて、アルミホイルをしっかりと閉じて密封する。
 4. フライパンに3を並べ、水2cm程を入れ、蓋をして、最初強火で、湯気が出たら中火にして12分加熱する。

※フライパンが痛まないように水を入れます



日赤みやぎ311号読者プレゼントにご応募ありがとうございました

【読者の声】

- ・赤十字の具体的活動や地域との繋がりも確認できてよかったです。（60代男性）
- ・赤十字マークを見ただけで安心する人もたくさんいると思います。震災から10年の節目で記事にあった動画を見て、改めて忘れてはいけなかったと思います。（20代女性）
- ・イオンモール名取に献血バスがとまっているのをよく見かけます。僕も献血できる年齢なので積極的に協力していきたいと思います！（10代男性）
- ・非常食レシピはとても役に立ちました。もっとたくさんのメニューを知りたいと思います。（50代女性）
- ・初めて読みました。子どもが病気で輸血したり、治療で日赤にお世話になりました。（30代女性）

【日赤みやぎ編集委員会から】

20名以上の応募があり、本紙に目を留めてくださった方々の声を聞くことができ嬉しく思います。これからも活動の充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。

